



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「高齢者とモチベーション」 **監事 石田 紘三**

平成 29 年 1 月、日本老年学会・日本老年医学界は、65 歳以上とされている「高齢者」の定義を 65～74 歳は「准高齢者」、75～89 歳は「高齢者」、90 歳以上は「超高齢者」と区分替えする事を国に提案した。同学会はこの再区分によって、最近の高齢者の若返り現象などから従来の高齢者(65～75 歳)を社会の支え手としてのモチベーションを持った存在として捉えなおすよう提言している。すなわち「准高齢者」は仕事なり趣味・ボランティア活動などを通じて社会貢献のモチベーションを持ち続け、自身も社会も活性化できると提言。喜寿を間近に控えた小生も賛意を表したい。SEF の理念にも通じるのではないだろうか。

このモチベーションを維持する方策は以前では「しっかり食べ、しっかり歩くことが重要」と言われて来たが最近の研究では「社会との接点を失わないようにすることが重要」と判ってきたようだ。プロゴルファーの宮里藍選手の引退会見、プロとして戦うモチベーションの維持が困難と感じたから・・・実に爽やかでした。

5 月度(第 165 回)理事会報告(5 月 24 日)

《第 165 回理事会》

1. H29 年度予算案の件	→可決承認	9. IOT 講座開講の件
2. H29 年度役員人事・体制の件	→可決承認	10. 日野システック電気設備コンサルタント業務取進めの件
3. 第 15 回通常総会開催の件	→可決承認	11. HP 更新画面概要説明の件
4. 通常総会后官庁届出書類の件	→可決承認	12. H28 年度会計監査報告の件
5. H29 年 6 月会員交流会の件	→可決承認	13. H29 年度 SEF たより執筆者の件
6. 総合ハイテック覚書更新の件	→可決承認	14. 個人情報保護法施行の件
7. 事務局業務簡素化・効率化 3	→継続審議	15. SEF 事務所固定電話休止の件
(以下報告事項 報告了承)		16. H29 年 10 月会員交流会会場の件
8. 正会員・準会員入会の件(正:1 名 準:3 名)		17. 業務支援事業部 4Q 活動報告
		18. H29 年 4 月度会計報告

事業報告 業務支援事業部 (GS部) **担当理事 眞鍋康雄**

新年度を迎え、6 月総会に向けて前期の結果まとめと今期の当事業部運営基本方針、活動計画、活動予算の各案を策定の下に新年度が実質スタートしました。前期の当部の事業収入実績は対予算 90% 程度となり、新規の業務受託案件の増加で不十分ながらもそれなりの結果を出す事が出来ました。今期の運営基本方針は前期の内容を踏襲する中で、事業案件・情報源の拡大と後継会員の拡大にアクセントをつけて取り組もうと思います。又、事業予算規模としては、前期予算に対して若干上積みで考えています。新年度の立ち上がり状況は期初から新規事業案件が加わる事や継続事業の一部が久し振りの立ち直りを示した事で順調にスタートしています。業務支援事業部会(GS部会)自体も各位の意欲により活力が高まっている状況です。

SEF サロン 第 99 回報告 第 100 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《第 99 回：報告》5 月 24 日実施
 講師：田子 弘氏 サウディ石油化学株式会社 顧問
 演題：「サウジアラビア近況」

先日の国王の来日や、トランプ大統領の最初外遊地等で今注目が集まっているサウジアラビアについて、歴史をはじめとする概況、重要産業の一つ石油化学産業の過去から現在まで、そして未来計画 Saudi Vision 2030 についてお話がありました。現状は 8 割の収入が石油に依存しており、国家財政は大きな打撃を受けていますが、将来の国家目標にもとづく施策を日米そして中国の協力を求めて推進しています。サウジ業務の経験者を含むご出席の方々との意見交換が続き、日本とサウジの今後の協力関係のあり方について考えるよい機会となりました。

《第 100 回：案内》
 日時：2017 年 7 月 26 日(水) 18 時 場所：青学会館内アイビーホール 1F 「フェリア」
 演題：「未定」 講師：未定

5 月度会員動向

会員入退会	6 月 1 日 会員数
準会員入会 篠原氏 富岡氏	正会員-31 名、準会員-34 名、賛助会員-2 社